

# 令和2年度 事業報告

## 主な事業概要について (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

日本各地で甚大な被害が発生した、昨年の「令和2年7月豪雨」は、ここ岐阜県においても、6市に特別警報が発令されたほか、県内各所で降り始めからの降水量が1000ミリを超えるなど記録的な大雨となり、家屋浸水被害や土砂災害の発生、道路の通行止めが相次ぎました。即座に広域支援による災害復旧活動が図られましたが、防災対策の重要性は益々高まり、岐阜県では、今般の豪雨災害の検証が行われました。

また、1月初旬の福井豪雪では、中部9県1市による「災害時の応援に関する協定」に基づく要請により、関連団体の（一社）岐阜県建設業協会の指揮のもと、ダンプトラックの応援を行い、県道や市道の排雪運搬に従事しました。情報が輻輳する中、しっかりと連携を取りながら、役割を果たしたのは記憶に新しいところです。

新型コロナウイルスの影響により、当協会の活動は制限されたものの、建設技術講習会は、岐阜総合学園高等学校にて実施しました。

岐阜社会基盤研究所の研究発表会では、『管路更生工法の調査及び検証に関する研究報告』と題して発表を行い、自由討論会では、『グリーンインフラについて』の発表を行いました。（公財）岐阜県建設研究センター 設立50周年式典の出席や、産官学の各共同研究を通じて、他分野のノウハウや知識収集、人脈の形成、技術力向上に繋がるよう努めました。

### トンネル技術委員会

#### 1. 活動方針

トンネルの維持修繕や環境問題及び新工法に関して調査研究を行い、県内業者の技術力向上を図る事と、適正工法の研究等を行う事で、トンネル施工のより質の高い社会資本整備・公共福祉の増進に寄与する事を目的としました。

#### 2. 活動内容

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、感染防止を図るため、集合しての委員会活動は自粛と致しましたが、以下の活動を行いました。

##### I. 技術発表会のテーマの継続

技術発表会で取り組んでいる『トンネルの長寿命化』において、新設トンネル施工における長寿命化対策の提案のうち、坑門及び出入口の覆工箇所について表面保護を施すことにより経年劣化の進行状況を比較検証する業務に取り掛かりました。8月には、現在施工中であるめいほうトンネルにおいて、実施工を行いました。

## ダム技術委員会

### 1. 活動方針

ダム、砂防堰堤の維持修繕・新技術・環境対策等に関して調査研究を行い会員相互の技術力向上を目指すと共に、地域への貢献につながるよう活動を行います。

### 2. 活動内容

#### I. 現場見学会の開催

コロナ禍による影響で工事見学会を中止し、各会員が維持修繕・新技術等の情報収集に努めました。

#### II. 建設技術講習会への参加

コロナ禍の影響により岐阜県特殊工事技術発表会の中止、並びに建設技術講習会の開催規模縮小に伴い、研究発表には参加しませんでした。

## 下水道技術委員会

### 1. 活動方針

近年、下水道施設の劣化が進み、耐震対策及び維持・修繕（更生）の課題が多い中、新技術等を採用した工法が県内企業にて施工出来るよう考案・研究し、技術力向上を目的としました。

### 2. 活動内容

#### I. 下水道の維持・修繕（更生）工事に関する施工方法の検討

管更生工法や各施設の修繕方法の情報収集を行い、新技術を研究し、技術力向上を目指しました。

- II. 自然災害に対応した、下水道の検討  
県内企業で出来る新技術（製品）の施工習得のため、情報収集を行い、研究し各委員の技術力向上を目指しました。
  
- III. 施工・製品の新技术の開拓  
インターネットや各協会からの有益な情報を取得し、研究テーマに活かしました。
  
- IV. 建設技術講習会への参加  
コロナウイルス感染症の影響により中止。
  
- V. 技術発表会（当協会主催）への参加  
『下水道管の再構築(管更生工法)』の発表を行いました。
  
- VI. 岐阜社会基盤研究所の研究  
岐阜社会基盤研究所の研究として、研究成果をまとめ発表しました。

## 橋梁技術委員会

### 1. 活動方針

県内建設企業の技術力向上を目指すと共に、会員相互のコミュニケーションをはかり、情報交換を密にして、発注者に対して技術力をアピールし、地域への貢献につながるように活動しています。

### 2. 活動内容

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、集合しての委員会活動は制限されましたが、以下の活動を行いました。

#### I. 技術発表会のテーマの継続

平成28年度より継続的に取り組んでいる『小規模橋梁の点検修繕について』継続的なデータの収集を行いました。

#### II. 建設技術講習会への参加

岐阜総合学園高等学校 環境テクノロジー系列2年生20名を対象に、『橋梁とは！？』というテーマで講習を行いました。

## 自然共生技術委員会

### 1. 活動方針

建設工事と自然との関わりについて調査研究をおこない、自然共生に関する知識や技術の向上を目的としました。

### 2. 活動内容

#### I. 概念「グリーンインフラストラクチャー」の考え方の理解

平成27年に国の施策に位置付けられた自然の持つ多様な機能を積極的に活用した社会資本整備や土地利用、管理の概念「グリーンインフラストラクチャー」の考え方を理解し、自然共生の視点からインターネット等にて調査研究に取り組みました。

#### II. 特別講演及び自由討論会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

『グリーンインフラについて』と題して発表を行い、討論会に参加しました。

## 安全・環境委員会

### 1. 活動方針

社会基盤整備・維持管理の担い手として、労働安全・環境の改善策の提案・指導、意識の向上及び自然環境問題への対応・改善を目的に活動しました。

### 2. 活動内容

#### I. 建設技術講習会への参加

岐阜総合学園高等学校 環境テクノロジー系列2年生20名を対象に『現場における安全と環境に対する取組み』というテーマで、講習を行いました。

#### II. 研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

各構成団体が行った研究成果を聴講して知識の向上を図りました。  
(ZOOMにて参加)

#### III. 安全環境パトロール、合同安全講習会、各種環境フォーラム等への参加について

コロナの影響で、今年度は、活動を自粛しました。

## 企画広報委員会

### 1. 活動方針

各委員会における研究・開発の成果を研修会等の企画・開催を通じて発信することで、地域の基盤整備に貢献する社会のニーズに応えるべく活動してまいりました。

また、公益法人としての事業目的の一つとして「学校関係者及び生徒に建設技術の素晴らしさを広く学ぶ機会を創出する」ことの趣旨に則り、各委員会から建設系学校に講師を派遣し、建設技術講習会の開催をしました。

活動を行うに当たり、岐阜県新型コロナウイルス感染症対策を遵守し対応しました。

### 2. 活動内容

#### I. 技術発表会（当協会主催）

毎年8月開催の技術発表会は、岐阜県にて新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための「第2波非常事態」宣言中につき、開催を中止しました。

#### II. 研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

令和2年9月8日に開催された研究発表会へ参加しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、開催場所の人数制限により会場とオンラインにて参加しました。

#### III. 自由討論会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

令和3年2月2日に開催された自由討論会へ参加しました。

新型コロナウイルス感染症対策として、開催場所の人数制限により会場とオンラインにて参加しました。

#### IV. 建設技術講習会の開催

1) 令和2年11月25日に、岐阜総合学園高等学校環境テクノロジー系列2年生20名対象で開催しました。

第1部は、橋梁技術委員会・安全環境委員会にて講義をしまし

た。第2部では、会員企業の若手技術者とグループディスカッション『若手技術者がホンネで答えます!』と題して、20代の若手技術者が日々の就業内容を説明するとともに、学生の質問に本音で答弁しました。

- 2) 令和2年12月7日に、岐阜工業高等専門学校環境都市工学科3・4年生80名対象で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染者が学校にて発生したため開催中止となりました。

#### V. 広報活動の実施

各委員会の活動・研究成果などを一般の方々へ広く知っていただくために、パンフレットの作成・自前のホームページの運用を通じ広報活動に努めました。